

科 目 名	基礎臨床実習					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	石 松 秀						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	管理栄養士は、傷病者のさまざまな検査結果から体内での代謝的変動を把握し、適切な栄養指導を行う必要がある。そこで本実習では、さまざまな症例や採血、測定を通して、生体から得られる情報を正確に読み取る力を養わせることを目的とする。また、得られた情報を基に、生体内でどのような代謝変動が起きているのか、あるいは生活習慣等の問題点や改善点などについて考えていく力を身につけさせる。						
授 業 の 到達目標	1) 検査値を正確に読み取ることができる。 2) 検査値と生活習慣等との関係を考えることができる。 3) 検査値と体内での代謝変動との関係を考えることができる。 4) 実験により得られたデータを正確に読み取ることができる。 5) データを基に生体内での代謝調節の仕組みや変化を理解できる。 6) 疾病が生体情報に与える影響について関心を持つ。 7) 摂食行動が生体に与える影響について関心を持つ。						
学 習 方 法	実習／実験、グループ討論、発表						
テキスト及 び参考書等	実習書を配布						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等	◎	◎				10	
宿題・授業外レポート	○	○		○	○	10	
授業態度				◎		5	
受講者の発表	◎	◎		◎	○	10	
授業への参加度				◎		5	
その他	2/3以上の出席がない場合は成績評価はしません。					100	
合 計							
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	実習オリエンテーション						
第 2 週	血圧、心拍数の調節について（実習概説）						
第 3 週	血圧、心拍数の調節について（実習）						
第 4 週	血圧、心拍数の調節について（発表）						
第 5 週	出血と凝固（実習概説）						
第 6 週	出血と凝固（実習）						
第 7 週	出血と凝固（発表）						
第 8 週	糖と脂質の吸収（実習概説）						
第 9 週	糖と脂質の吸収（予備実験）						
第 10 週	糖と脂質の吸収（実験）						
第 11 週	糖と脂質の吸収（発表）						
第 12 週	実習総括、定期試験						
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	本実習には医師または臨床検査技師による穿刺、採血を伴う実習が含まれる。血液、注射針など医療廃棄物の取り扱いには十分注意すること。授業外学習（事前学習・事後学習）：毎回の実習を振り返り、発表に備えて実習レポートを作成すること。実習のユニットごとに小テストを行い、期末に定期試験を行う。						